

看護学科 講義要綱

科目	看護の方法VI (検査・治療の 援助、看護)	単位	1	時間 数	30	開 講 期	2年 後 期	担 当 者	看護師：中村 卓樹 (20) 看護師：笹田 恵 (10)
----	------------------------------	----	---	---------	----	-------------	--------------	-------------	---------------------------------

講義 の 目 標	<p>【薬物療法】10回／20時間</p> <p>1. 薬物療法を理解し、与薬援助に関する基礎的知識・技術を学ぶ。</p> <p>2. 与薬援助時の看護師の役割を学ぶ。</p> <p>【検査】5回／10時間</p> <p>1. 診療検査時の看護の役割について理解する。</p> <p>2. 検査を受ける患者に必要な基礎的知識と技術について学ぶ。</p> <p>3. 静脈血採血は、上腕の静脈の走行をイメージして清潔操作で実施できることをめざす。</p>
-------------------	--

講義 計 画	回数	学習内容	看護師教育の技術項目	担当
	1	講義・グループワーク：安全に与薬するために 事例検討	64：患者の誤薬防止策の実施	中村 【薬物 療法】
	2	演習：与薬における看護師の役割、経口的与薬の方法と注意点	38：経口薬の投与	
	3 4	講義：非経口的与薬法（直腸内与薬、吸入、点眼、点耳、点鼻、貼付、 塗布、塗擦など）、	39：経皮・外用薬の投与 40：坐薬の投与	
	5	講義：注射法		
	6	演習：注射の準備－注射器の接続、 アンプルカット、薬液の吸い上げ－		
	7	演習：静脈内注射	43：静脈内注射	
	8	演習：筋肉内注射	42：筋肉内注射	
	9	演習：点滴静脈内注射①	43：点滴静脈内注射	
	10	演習：点滴静脈内注射②	44：点滴静脈内注射の管理	
	11	講義：検査とは 検査における看護師の役割	53：検体（尿、血液等）の 取扱い	
	12	講義：静脈血採血について	56：検査の介助	
	13	演習：静脈血採血の実際①	55：静脈血採血	
	14	演習：静脈血採血の実際②		
	15	終了試験（筆記）		

講義 の 課 外 学 習	<p>出席日数</p> <p>授業態度（演習への参加姿勢を含む）</p> <p>レポート</p> <p>筆記試験</p>
-----------------------------	--

講義 の 備 考	<p>薬理学・臨床薬理学等で学んだ知識と関連させながら学習を積み重ねていきましょう。</p> <p>解剖生理をイメージしながら神経や血管の走行をふまえ、薬剤の吸収過程など知識を持った技術の習得を目指して下さい。</p> <p>また、検査に携わる看護師の、安心安全のための配慮・看護技術を学びましょう。</p>
-------------------	--

テキスト	① 書名 系統看護学講座 専門分野 I 写真でわかる臨床看護技術① メディカ	② 著者名 基礎看護技術 II 本庄恵子	③ 発行所 医学書院 インター
参考文献	① 書名	② 著者名	③ 発行所